

## 実際の服薬状況を確認することでより効果的な薬物治療に

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は実際の服薬状況を確認することでより効果的で適切な治療につながった事例のプレアボイドを紹介いたします。

### 患者背景

Sさん

・肺扁平上皮癌に対して、ジオトリフ錠<sup>®</sup>導入目的にて入院中  
アドヒアランス確認のため訪室し、服薬状況を聴取する。  
【処方】ジオトリフ錠<sup>®</sup>40mg 1錠 1日1回（朝～昼）**食間**  
※食間とは食事の前後およそ2時間ずつを避けた時間



こんにちは。ジオトリフ錠<sup>®</sup>を飲み始めてから  
体調の変化はありましたか。

大丈夫です。

ジオトリフ錠<sup>®</sup>はいつごろ飲まれてますか。

看護師さんと朝の10時に飲むって決めました。



Sさんのジオトリフ錠<sup>®</sup>ですが、患者さんから  
毎朝10時に飲んでしていると伺いました。

はい。朝から昼にかけての**食間**の薬は朝10時  
に飲むようにしているんです。

ジオトリフ錠<sup>®</sup>は添付文書に“**食事の影響を  
避けるため、食事の1時間前から食後3時間  
までの服用は避けること**”とされています。

なるほど。では、朝食は8時に終わるので  
11時のほうが内服に適しているんですね。  
昼食は12時からなので問題ありませんね。



看護師



Sさん病室にて内服時間の変更について説明・・・

なるほど。そういう影響もあるんだ～。  
わかりました。明日からジオトリフ錠<sup>®</sup>は朝の  
11時に時間を決めて飲むんですね。退院して  
からも食事の時間に気をつける様になります。



翌日より内服時間は変更となり、患者の理解も良好であった。  
実際の服薬状況を把握することで、患者や他の医療スタッフの薬剤に対する  
理解を確認でき、より適切な薬物治療に貢献できた。